

(6) もしもにそなえる

大きな地震や災害にそなえて、水道局ではどのような仕事をしているのでしょうか。

● 災害時給水ステーションの設置



▲災害時給水ステーション（給水拠点）の地上部分
（この地下に応急給水槽があります。）（品川区立しお公園）

水道局の人の話

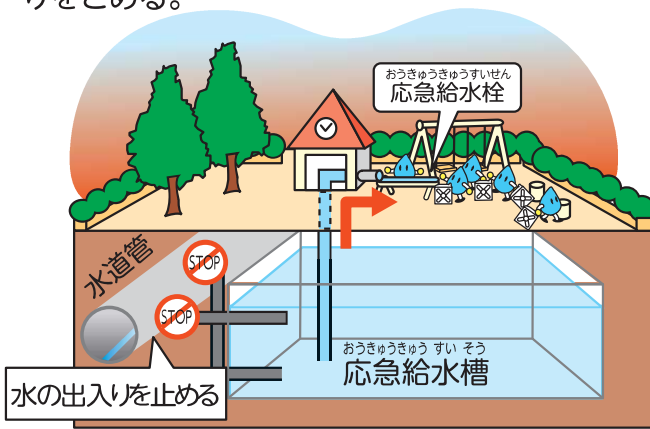


地震で水道管がこわれて、水が出なくなったときのために、公園などの地下に大きな水槽をつくって水をたくわえています。これを応急給水槽といいます。

応急給水槽や浄水場、給水所などを「災害時給水ステーション（給水拠点）」といいます。災害時給水ステーション（給水拠点）は都内に200か所以上あり、25mプール約2000はい分、約100万 m^3 以上の水をたくわえています。



いつも水が入れかわって、きれいな水がたくわえられている。地震などが起きたときは水槽の中の飲み水を守るため、水の出入りをとめる。



上の絵は「災害時給水ステーション」のシンボルマークだよ。



● 応急給水訓練

水道局の人の話



地震などで水が出なくなり、災害時給水ステーションを開設した場合には、みなさんを混乱させずに飲み水を配ることが重要です。

そこで、水道局では、災害時給水ステーションで水を配る区役所や市役所の方と一緒に、地域のみなさんにも参加してもらいながら、訓練を行っています。



▲災害時給水ステーションでの応急給水訓練
（港区芝給水所）